

成 田 市 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和3年6月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和3年6月29日 開会：午後3時 閉会：午後3時58分

会 場 成田市役所5階503会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員（教育長職務代理者）	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	岡 本 秀 彦
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	堀 越 正 宏
教育部参事	田 中 美 季
教育総務課長	多 田 隆 博
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	葉 山 憲 一
教育指導課長	廣 田 一 利
生涯学習課長	堀 越 千 里
学校給食センター所長	鈴 木 孝
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	伊 藤 照 枝
教育総務課長補佐（書記）	若 山 直 人

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 片岡委員、日暮委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○5月26日、27日 校長目標申告・教育長面談について

前回の教育委員会会議で報告させていただいた通りで、特に内容に変化はございません。大栄みらい学園の開校をもって平成20年3月に公表した学校適正配置が全て完了したことで市内の公立小・中・義務教育学校の数に適正配置前の42校から13校減って、29校となりました。また、前年に比べても5校減り、目標申告にかかる面談時間も昨年に比較し、1時間ほど短縮できた次第です。

○6月 1日 大栄みらい学園開校式について

開校式には全委員さんにご出席していただきましたので、ここで特にご報告する内容はございません。ご覧いただいた通りで快適で安全に過ごせる本当に素晴らしい学校が出来上がりました。今後は単なる小学校と中学校の集まりではなく、義務教育学校の特性を生かした学校教育活動が積極的に展開されますことを期待しています。なお、校歌は年度内に完成し、これを披露する会も開催できると思いますので、その際には是非皆様のご参加をお願いしたいと思います。

市議会

○6月 4日～6月30日 令和3年6月定例会について

今議会もコロナ議会で終始した感があります。市役所ではワクチン接種の準備が始まってからというもの、それまでも多忙を極めていた関係部署がより一層多忙化し、市民からの問い合わせやコロナ感染情報の収集、ワクチン接種に向けたクーポン券の発送等々、対応にあたる職員は健康が心配されるほどの状況に陥っています。そのため他部署からの応援職員を臨時に配置していますが、それでも厳しい状況は変わらないようです。まさにこの状況下での議会对応

でしたので、本当に大変だったと思います。

一方教育委員会では、GIGAスクール構想で整備されたタブレット端末の利用状況に関する質問や、昨年度コロナ禍で学校行事が中止になったこと等による児童生徒への影響、今年度の修学旅行の問題等が質問されましたが、それぞれ実情を丁寧に述べさせていただきました。質問の中に、コロナ禍で修学旅行の日程変更や実施、中止の判断を校長に行わせることは負担が大きすぎるのではないか、とのご意見がありました。校長は学校の最高責任者であり、児童生徒の実態や地域の実情を把握し自校の学校行事を計画し、実施することについて責任を負うことは当然の責務です。校長という職務は、行事を実施するか中止するかの判断も含め、様々な場面で常に難しい判断を迫られるものです。そのためこうした状況に立ち向かっていける人物を学校の最高責任者として登用しているわけですので、負担が大きすぎる、とのご意見は少し違うのではないかと思います次第です。

この他、人事案件で「副市長の選任」があり、現職の関根賢次副市長が引き続き選任されました。なお、当初、議会は23日で閉会の予定でしたが、執行部から追加議案があり、議案審査のため明日30日まで延長となりました。

○6月 4日 全員協議会

ここでは、教育委員会から提案しておりました、学校給食センター本所・玉造分所再整備基本計画について報告させていただきました。全員協議会ということもあり、特に質問はございませんでした。

○6月15日 教育民生常任委員会

常任委員会では、教育委員会から、八生小学校と公津小学校の大規模改造工事建築工事の請負契約の締結について、また、学校の体育の授業中に発生した生徒の事故に関する損害賠償の額の決定及び和解について、の3議案が審議され、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。なお、その後の本会議において全会一致で可決されました。

また、所管事務調査の中で、学校におけるタブレット端末を活用した授業の現状について、プロジェクターを使い、児童生徒がタブレットを使って学習している様子の写真や動画を披露させていただき、常任委員会の委員の皆様理解を深めていただきました。

その他

○5月27日 令和3年度成田ユネスコ協会総会について

昨年は中止とされた総会でしたが、今年は何とか実施することができました。メンバーの多くが高齢者ですので、コロナ禍では感染が心配されなかなか思うような活動ができなかったものと思います。久しぶりに対面で行う会に参加者の顔もほころんで見えました。

○5月28日 第1回成田市副校長・教頭研修会について

私は校長会議や教頭会議の際は、その時の社会情勢や、緊急課題、学校への要請や議会对応の状況等、特に伝えたいこと、考えてもらいたいことを中心に話をさせていただいています。この日は、少し視点を変えて「身体に障がいのある人」に対する周囲の理解について考えてもらえるような内容で話をしました。皆様にもちよっとお話しさせていただきますと、「サイニングストア」について、JR東日本が発行している「a n d E」という小冊子に掲載されていた内容が興味深かったので副校長や教頭先生方に紹介しました。「D & I」と言うのだそうですが、ダイバーシティ&インクルージョンの略で、人種や性別、障がいなどによって左右されことなく、あらゆる人を尊重することを示す言葉だそうです。この視点で昨年6月にスターバックスが日本初のサイニングストアをJR中央線国立駅の商業施設「n o n o w a 国立」にオープンさせたのですが、この店の特徴は22人のスタッフの内、16人が聴覚障がい者だということです。注文から商品の提供までの間、スタッフとお客さんは声による会話を交わしませんが、サービスには何の支障もないということです。サイニングストアというのは、ご存知の方もいるかと思いますが、従業員同士が手話でコミュニケーションをとる店舗を意味しています。スターバックスは世界初のサイニングストアを2017年度にマレーシアにオープンさせたそうです。もちろん、サイニングストアには聴覚障害のあるスタッフがスムーズにサービスを提供できるよう様々な工夫を施していて、サイズやホット、アイスなどを指さしで注文できるメニューシートや、ドリンクができたならレシート番号を表示するモニターも新たに開発したり、この他にも様々な工夫を施してこの店の運営をしているのだそうです。

学校の子どもたちも、一人一人をよく見ると、何かしら、不自由にしているものがある。LDだとか、ADHDだとか診断されていなくても、一人一人が何かに躓いたり、悩んだり、迷ったりしている。昨日は何ともなくても、今日は何か変だ、ということは、学校では日常的に発生しています。私も学級担任だった頃、健康観察の時間に子どもの名前を呼び、その表情や返事を聞き、今朝の家庭の状況や、子どもの心情を少しでもわかろうとしていました。もちろん休み時間に一緒に遊んだり、一緒に掃除をしたり、一緒に机を囲んで給食を食べたりしながら子どもの思いを感じていました。それは感覚的なものでしかありませんが、学校で子どもと日常生活を共にしていると、いろいろと感ずることがあるものです。私は、コロナ禍の今だからこそ、

こうした営みが十分できていないのではないかと危惧して、学校の先生方に、しつこいくらい、子ども一人一人をよく見て、感じて、と訴えることにしています。サイニングストアは聴覚障がいのある方も健聴者と同様に安心して働ける場であり、健聴者にも聴覚障がいのある方についての理解を深める場になっているのだと思います。学校も、子どもたち一人一人の居場所があって、一人一人を認め合える場であることを願い、このような話をさせてもらいました。

○5月31日 「大栄みらい学園」視察について

開校式典を翌日に控えたこの日、初めて新校舎に入る子どもたちの様子が見たくて、早朝から大栄みらい学園を訪問し、スクールバスを降り、昇降口に向かう姿、校舎内に入った子ども達の姿をじっくり見させていただきました。どの子も広くて新しい校舎にびっくりした様子で顔もほころんでいました。開校式を前に、まずは落ち着いて学校生活を送れるようにと学年順に先生に校舎内を案内してもらっている姿も印象的でした。「広すぎて迷子になりそう」という声も聞こえてきました。この快適な教育環境の中、子どもたちがこれからどのような成長を遂げていくか、とても楽しみです。

○6月 3日 令和3年度一般財団法人印旛教育会館 第1回評議員会について

今回の議題は、令和2年度の事業報告と決算の承認に関する件、令和2年度公益目的支出計画実施報告書の承認に関する件、理事の選任に関する件、特別会計から一般会計への繰り入れの件、4議案について審議し、全議案とも原案通り、全会一致もしくは賛成多数で可決されました。なお、議案審議中、評議員の一人から、印旛教育会館も避難所として活用できるよう太陽光発電システムと蓄電池を備えるべき、との意見がありましたが、現在の建物は老朽化が進み、近い将来建て替えを計画しなければならない状況であること、加えて、根本名川沿いにあるため、水害時には避難所としての活用に向きなこと等を鑑み、現状で太陽光発電システムを備えることについては、合理性に欠けるとして、この提案を拒否したところです。

○6月10日 一般社団法人成田青年会議所 2021年度創立五十周年記念式典について

成田ビューホテルにて成田青年会議所の創立50周年記念式典があり、私も招待されましたので参加させて頂きました。コロナ禍であり、式典は席の間隔を十分空け、参加者全員が同一方向を向いたままで実施されました。50年前、私はまだ学生で、大阪万博が開かれた頃になるのでしょうか、ずいぶんと長い歴史を刻んできたものです。式典は来賓の他、歴代理事長さん方が次々に登壇し挨拶されました。午後7時に開始し、終了したのは午後9時を少し過ぎた

頃でした。この間、椅子に座ったまま、飲食もせず、会話もせず、何もすることが無くじっと正面を向いたままでしたので、青年会議所の皆様のご苦労は十分理解したところですが、さすがに時間が過ぎるのを長く感じました。

○6月16日～6月22日 令和3年度市町村教育委員会教育長説明会について（千葉県ホームページ上の公式セミナーチャンネルにて動画配信）

コロナの影響で県の施策説明会が対面では実施できず、およそ20分程度の動画を見ることで説明会に代えることになりました。今年は何といても県教育長が代わったことが大きなニュースです。これまで文科省から出向して来られた国の幹部職員が県の教育長を務めておられましたが、今年は3月まで県の環境生活部長だった冨塚昌子氏、59歳が4月20日付で就任されました。冨塚教育長は、千葉県で初の女性教育長でもあります。今後の教育施策にどんな変化があるか期待したいところです。

○6月17日 成田商工会議所青年部による図書 贈呈式について

NHK大河ドラマで放映中の「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一にちなんで日本商工会議所青年部が刊行した図書「おかねってなあに」45冊を成田商工会議所青年部から学校等に寄贈していただくことになり、その贈呈式を行いました。この図書は商工会議所の創設者でもある渋沢栄一がお金の大切さを教える絵本となっています。有効に活用させて頂きたいと思います。ちなみに2024年度上半期に20年ぶりに紙幣が一新され、皆様ご承知のように渋沢栄一が1万円札の肖像画に、5千円札が津田梅子、千円札が北里柴三郎に変わることになっています。

○6月21日 令和3年度第1回成田市学校支援地域本部事業運営委員会について

今年度から成田中学校と公津小学校もこの事業に参加できることになり、市内16校で実施されることになりました。この日は運営委員会の委員長に加瀬間勝範氏を、副委員長に肝付兼茂氏を選出し、各校の地域コーディネーターから今年度の取組について報告をしていただきました。私は、この学校支援地域本部や放課後子ども教室等、日常的に学校で子ども達と関わる活動に参加されている方々に加え、学校評議員として学校教育に対して支援や助言をしてくださっている方々のご協力も得て、今後は各学校の実情に適した「コミュニティースクール」を作っていきたいと考えています。また、その準備段階として今年度は、「本当に子ども達のためになるコミュニティースクール」の構築に向けて教職員の代表と市教育委員会職員とで検討組織を作り、議論を進めてまいりたいと思います。教育委員の皆様におかれましてもその都度適切なお助言を賜り

たいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○6月24日、25日、28日 叙位・叙勲伝達について

叙勲伝達が続きました。24日は、元成田中学校校長高橋龍之先生に叙位、叙勲の伝達を、また25日は元成田中学校長で、本市教育委員会の教育委員や教育委員長としてご活躍された伊藤睦先生に高齢者叙勲を、そして28日には、元八生小学校長の舘野敏明先生に叙位、叙勲の伝達をしてまいりました。高橋龍之先生は市内前林にお住まいで香取管内や市内中学校の数学科教諭としてご活躍後、成田中学校教頭、県教育庁印旛地方出張所指導主事から平成4年に吾妻中学校校長へ昇任。その後、西中学校長、成田中学校長としてご活躍され、平成16年にご退職されました。高橋先生が遠山中学校教諭時代、私は三里塚小学校教諭でしたが、当時、小学校を卒業させた子ども達の引継ぎのため、遠山中で教務主任だった高橋先生にお話しさせて頂いた思い出があります。近年は闘病中でありましたが、本年3月5日にお亡くなりになったということで残念でなりません。また、伊藤睦先生は、市内及び栄町の中学校教諭から栄中学校教頭、そして昭和63年4月に栄町立栄東中学校の初代校長に昇任。平成4年には市内成田中学校長となり、平成6年に定年退職を迎えられました。その後本市教育委員、教育委員長等を歴任されご活躍されました。

そして、舘野敏明先生ですが、昭和52年に佐倉市立志津中学校教諭として教職人生のスタートを切り、佐倉市、成田市、八街市内の各中学校で社会科教諭としてご活躍され、栄町立栄中学校と白井市立大山口中学校で教頭を勤められ平成20年4月に柏市立大津ヶ丘小学校長に昇任。その後平成23年から市内八生小学校長、そして平成25年に定年退職を迎えられました。舘野先生は私と同年齢であり、共に同時代を生き抜いた同士でもありました。校長に昇任してから持病を患い、ご苦労も多かったようですが、本年3月1日、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りし、ご遺族に叙位、叙勲の伝達をさせていただきました。

○6月24日 令和3年度千葉県都市教育長協議会全体会及び分科会について

ホテルポートプラザちばで、今年度の千葉県都市教育長協議会を開催しました。県内37都市の内、千葉市、市川市、習志野市など、9市の教育長が欠席しましたが、久しぶりに他市の教育長と対面で議論を交わすことができました。分科会では県及び国への人事要望を取りまとめましたが、相変わらず要望事項は多く、教育課題が山積していると感じざるを得ません。要望が多いということは、教育現場が直面している課題が解決されずに続いていることを意味するわけで、特に喫緊の課題である教員不足の状況についても、現状の教員に対する待遇改善や、職場環

境の改善が図られていかないと今後ますます教員志望者が減少していくのではないかと懸念しているところです。

○6月25日 公益財団法人印旛郡市文化財センター第9回定時評議員会について

前回の理事会で審議し、承認された内容を今度は評議員会で審議していただきました。私は副理事長という立場で評議員会に出席しているため、特に発言を求めるようなことは致しませんが、この日は、4名中3名の評議員が出席し、全議案とも全会一致で可決されました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

特になし

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号、議案第2号及び議案第4号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「成田市教育事務評価委員の委嘱について」

多田教育総務課長：

それでは、議案第1号についてご説明申し上げます。

成田市教育事務評価委員の委嘱であります。この制度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表しなければならない」とされております。そして点検・評価にあたっては、教育に関する学識経験者の知見を活用することとされていることから、「成田市教育事務評価委員設置要領」を定め、毎年点検・評価を実施しているところであります。

それでは、3ページをご覧ください。本案は、依知川 典子委員、渡邊 昌美委員、高塚 典子委員の3名が本年7月25日をもって任期満了となること、日暮 美智子委員が教育委員就任にあたり、令和2年9月30日をもって解嘱となったことから、後任の委員として、秋山 皓

一氏、内田 和子氏、江邨 一男氏、軸屋 美恵子氏の4名を新規に委嘱しようとするものです。

経歴につきましては、2ページに記載のとおりでございますが、いずれの方も学校教育や社会教育など様々な分野でご活躍されており、教育に関し相応の知見を有していることから、適任であると考えております。

なお、任期は4名とも令和5年7月25日までとなり、ご承認いただいた上は、大竹委員とともに、今年度の点検評価をお願いすることとなります。

第1号議案の説明は、以上でございます。

関川教育長：ただ今の提案に関し、ご質問等ございますか。

関川教育長：特にないようですので、議案第1号「成田市教育事務評価委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第2号「令和4年度使用教科用図書の選定について」

葉山学務課長：

議案第2号につきまして、ご説明申し上げます。

成田市教育委員会として、令和4年度に使用する中学校教科書社会科歴史及び学校教育法附則第9条の規定による一般図書などの選定を行うものです。

7月6日に開催される第2回教科用図書印旛採択地区協議会に、本市教育委員会を代表して関川教育長と佐藤教育長職務代理者にご出席いただくにあたりまして、本市教育委員会としての選定をどのようにするか、本日、調査・協議いただきました。

まず、中学校教科書社会科歴史的分野ですが、今年度新たに1冊が選定の候補に加わりました。今回新たに加わった1冊について、様々なご意見を頂きましたが、選出しないというご意見を頂きました。ご確認の上、ご審議をお願いいたします。

次に、特別支援学級で使用する附則9条図書ですが、議案書の3ページと4ページをご覧ください。今年度新たに3冊が選定の候補に加わりました。今回新たに加わった3冊につきましては、3冊すべてを適とするご意見を伺いました。ご審議よろしくをお願いいたします。

関川教育長：ただ今の提案に関し、ご質問等ございますか。

関川教育長：特にないようですので、議案第２号「令和４年度使用教科用図書の選定について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

《非公開を解く》

議案第３号「成田市立小学校、中学校及び義務教育学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正について」

葉山学務課長：

議案第３号 「成田市立小学校、中学校及び義務教育学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正について」であります。令和２年度第１回の学区審議会において、宗吾２丁目の開発行為に係る学区の変更について、「開発区域については、公津の杜小学校及び公津の杜中学校区に変更する」と提案し、学区の変更について諮問を行いましたところ、事務局の提案どおりの答申を受けました。

それに伴いまして、「成田市立小学校、中学校及び義務教育学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則」の一部改正をするものです。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

《議案第３号に対する質疑》

関川教育長：地番だけだと分かりづらいので、補足の説明をお願いします。

葉山学務課長：はい。開発区域としましては、宗吾二丁目の一部、大袋の一部、飯仲の一部であり、公津の杜中学校の近くの開発で、本来ですと学区は公津小学校ですが、利便性などを考えると公津の杜小学校、公津の杜中学校とした方が良いのではないかということでご審議いただき、そのように答申をいただいたものでございます。

関川教育長：よろしいでしょうか。今まで山林でしたので、そこに子どもたちがいなかったのですが、一応公津小の学区とされていました。しかし、実際に開発されるとすぐそばに公津の杜小学校があるということでこのような学区とするものです。

片岡委員：公津の杜小学校は人数が多いと思いますが、この200戸が入ることによって、よりクラス編成が増えたりとか、支障はありそうですか。

葉山学務課長：多少子どもは増えるとは思いますが、計算上は何とかなります。

片岡委員：現状の教室で足りるということですか。

葉山学務課長：今の段階では足ります。

関川教育長：まだ宅地もできていない状況なので、どのような年代の方が入ってくるかは、想像がつかないのですが、かなりの人数が入ってくれるのかなと思っています。それまでに、公津の杜小は今の人数よりかなり減るだろうという見込みです。

関川教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第3号「成田市立小学校、中学校及び義務教育学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

《これより非公開》

議案第4号「成田市立図書館協議会委員の委嘱について」

伊藤図書館長：

議案第4号、「成田市立図書館協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。

本案は、協議会委員の任期が、6月30日をもって満了となりましたことから、成田市立図書館設置条例第3条の規定により、新たに委員を委嘱しようとするものでございます。

新たな委員の任期は、令和3年7月1日から令和5年6月30日までとなります。

第1号委員につきましては、『学校教育の関係者』として、成田市校長会の推薦をいただきました、公津の杜小学校の半田 康校長先生、並びに、成田市教育推進の推薦をいただきました、同じく公津の杜小学校の京増 貴美枝教諭の2名でございます。両名とも再任でございます。

第2号委員につきましては、『社会教育の関係者』として、社会教育委員の推薦をいただきました、日暮 健氏、並びに、成田市生涯学習推進協議会の推薦をいただきました、軸屋 美恵子氏の2名でございます。両名とも再任でございます。

第3号委員につきましては、『家庭教育の向上に資する活動を行う者』として、成田市PTA連絡協議会の推薦をいただきました岩館 司氏で、新任でございます。

第4号委員の3名につきましては、『図書館の利用者』として、普段から図書館をよく利用していただいております方の中から、伏木 美雪氏、並びに、清慶 明日香氏、長尾 俊彦氏でございます。伏木 美雪氏は再任、清慶 明日香氏、長尾 俊彦氏は新任でございます。

恐れ入りますが、3ページの資料をご覧ください。第4号委員の伏木氏は毎日のように図書館を利用され、講座などにも積極的に参加し、時に厳しいご意見もいただく方です。清慶氏は家族ぐるみで長くご利用いただいています。長尾氏は、長年の図書館利用者であるとともに、ニュータウン祭り等の地域での集まりにも熱心に参加されている方です。

第5号委員につきましては、『識見を有する者』として、大学講師の野村 豊氏、成田市文化財保護協会の小川 和博氏でございます。いずれも再任でございます。

第5号委員の野村氏と小川氏は任期が長くなっておりますが、野村氏は図書館についても文化・科学・情報分野についても大変造詣が深く、小川氏は成田の歴史や文化財についての識見をお持ちの方であります。昨年度「成田市立図書館サービス計画」策定に当たり、両名から有意義なご意見をたくさんいただいたところであり、今年度が計画初年度に当たることから、今後の進捗についてもご意見ご提案をいただきたく、継続してお願いしたいと考えております。

以上で、議案第4号、成田市立図書館協議会委員の委嘱についての説明を終わります。

よろしくお願いいたします。

《議案第4号に対する質疑》

片岡委員：先ほどの教育事務評価委員と重複している方がいますが、仕方がないのでしょうか。

また、成田市から転出された方もいると思いますが、再度転入されたということでしょうか。

伊藤図書館長：勤務地の関係で住所が市外になっている方は、厳密にいうと現在は在勤の方としての利用者としておりますが、今後夏には転入予定であり、市内にご自宅があることを確認しています。他の委員と重複については、図書館協議会委員としては問題ありません。

多田教育総務課長：教育事務評価委員についても、ルール上の問題はございません。他の委員は学校の先生出身の方が多くこともあり、軸屋氏には社会教育の識見を有する方として社会教育の視点でということをお願いいたしました。

ただ、今後は様々なご意見をいただくという意味で、今回にかかわらず、委員の選任につきましては、様々な方をお願いすることも念頭に置きながら考えていきたいと思っております。

佐藤委員：こういう委員を見ていると、重なる方というのが多くなってきていると思います。

たとえば、どこかの団体から推薦してくださいと丸投げすると面倒くさいのでこの人となるので、ある程度、いろいろな人に個人的に当たってみて、どういう人がいいですかねとか、団体に丸投げはしていないとは思いますが、なるべく広く、きっと眠っている人材はいらっしゃると思います。目立つ人は、どうしてもあの人にやってもらえばという感じで、声をかけてしまうんです。ですので、そこは念頭に置かれた方が良くかなと思います。

関川教育長：よろしいでしょうか。これからも様々な委員の選任等ございますので、ただ今の

教育委員の皆様のご意見として尊重して、人事の方を進めてほしいと思います。

ほか何かございますか。特にないようですので、議案第4号「成田市立図書館協議会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

《非公開を解く》

(2) 報告事項

報告第1号「成田市教育委員会職員の人事異動について」

多田教育総務課長：

それでは、報告第1号「成田市教育委員会職員の人事異動について」をご説明いたします。

本件は、ワクチン接種などの新型コロナウイルス感染症対策で担当の健康増進課が非常に多忙となっており、元々在籍している職員だけでは事務を執行することが難しいということから、全庁各部署から職員の応援体制ということで、今回、教育部公民館の目崎主査が6月7日付けの人事異動によりまして、健康増進課に兼務という形で異動することになりました。本来であれば、先に教育委員会会議にお諮りするところでございますが、急なワクチン接種の業務の執行ということがありましたので、事後報告ということでご理解いただきたいと思います。報告は以上でございます。

《報告第1号に対する質疑》

特になし

報告第2号「令和3年度 就学援助に係る当初認定件数について」

葉山学務課長：

それでは、報告第2号「令和3年度就学援助に係る当初認定件数について」、ご説明いたします。

お配りしております資料にございますとおり、本年度は6月14日現在、小学生461名、中学生272名の合計733名を準要保護児童生徒として認定しております。

本市の準要保護認定児童生徒数は、昨年度の同時期の認定数764名と単純に比較いたしますと、4パーセントほど減少しておりますが、今後も新型コロナウイルス感染症及びその蔓延防止のための措置等の影響によりまして、離職や収入減少などといった厳しい状況に置かれた児童生徒を持つご家庭から、年度途中での申請が提出されることも予想されますので、引き続き、適切に対応してまいりたいと考えております。以上です。

《報告第2号に対する質疑》

佐藤委員：却下となっておりますが、市外で一人申請がありましたが、どういう申請だったのですか。

葉山学務課長：確認します。

関川教育長：成田市の学校で就学援助を受けていた方が、他市に転居して、そのまま就学援助を受けたいと申請してきた可能性があります。住居を移せば、就学援助を受けられます。再度、学務課で確認します。

関川教育長：よく市議会で質問を受けて、成田市は就学援助率が低いのではないかとよく言われていますが、ご覧のように、非常にばらつきが大きいです。多いところも少ないところもありまして、20パーセントを超えるところもあれば、1パーセント台のところもございますので、地域差が大きいなと感じているところです。0というところは、なくなりました。

報告第3号「成田市学校職員のハラスメントの防止等に関する要綱について」

葉山学務課長：

報告第3号 「成田市学校職員のハラスメントの防止等に関する要綱について」ですが、令和2年6月4日付け成人第501号、「成田市職員のハラスメントの防止に関する要綱の改正について（通知）」を受け、令和2年7月の校長会議にて各学校長へ周知したものです。趣旨といたしましては、全ての職員が個人としての尊厳を尊重され、男女ともに快適に働くことができる職場環境を確保するために、ハラスメントの防止及び排除のための措置並びにハラスメント

に起因する問題が生じた場合に適切に対応するための措置に関して、必要な事項を定めたものです。

加えて、指針として3つ

第一として、

「セクシュアル・ハラスメントを防止し、セクシュアル・ハラスメントに関する問題を解決するために職員が認識すべき事項についての指針」

第二として、

「パワー・ハラスメントを防止し、パワー・ハラスメントに関する問題を解決するために職員が認識すべき事項についての指針」

第三として、

「妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントを防止し、妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントに関する問題を解決するために職員が認識すべき事項についての指針」を併せて示しました。

令和3年度についても、7月7日に開催予定の校長会議にて再度周知する予定です。

以上となります。よろしくお願いします。

《報告第3号に対する質疑》

日暮委員：要綱を今度また校長会議で周知するという事で、本当に適切に周知してほしいと思っています。とりわけセクハラに関しては、自分たちから言い出せない児童生徒が被害を受けないように、適切な指導をお願いしたいと考えております。特に授業中での教員の子どもを不快にさせるような言葉については、教育委員会の方から管理職の先生方、また管理職から職員に伝えるようにしてほしいなという願いがありますので、よろしくお願いいたします。

葉山学務課長：セクハラについては、厳正に対処しなければならないので、適切に周知したいと思います。

佐藤委員：パワハラにしてもセクハラにしても、あつてはならないことだと思いますが、ハラスメントは受け取り方の問題がすごく大きいと思います。何を言われたかでなく、誰に言われたかというところが、私は大きいと思っています。上司は普段から誤解をされな

いような人間関係作りが大切だなと思います。あとパワハラについて、問題なのは指導とハラスメントの境ですね。私の経験だと、確かに厳しいことは言われてきたけど、陰湿なことはされてなかったから言えるのかもしれないのですが、無理難題を出されて、それを乗り越えることで、自分が一歩先へ行けるということもあるかなと思っています。最近のちょっときついことを言われるとパワハラだと言われるような風潮もどうかなと思うところもあります。ここにいる皆さんは上司なので、上司の立場というものがあるのでしょうか、若い人には多少のことは自分が伸びるためなんだよっていただきたいなと思います。

葉山学務課長：ありがとうございます。今、学務課訪問をしております、不祥事の中でハラスメント関係につきましては、聞き取りをしております。管理職側からのハラスメントについても行っていますが、同僚間での言動についてどうですかという確認をしていると、多少先輩の方がぶっきらぼうな言い方をして傷ついている職員がいたようです。このように把握しておりますので、やはり言動については適切にするように、校長先生、教頭先生からご指導くださいと話をしております。ただ、意識はさせていただいておりますので、今後も啓発していきたいと思います。

関川教育長：他にございますか。特にご質問等がなければ、以上で報告事項を終わりといたします。

6. その他

片岡委員：八街で交通事故があったことは、ご存じだと思いますが、子どもたちが下校の最中にトラックに追突されたということで、いま一度成田市でも登下校の安全確認をぜひしていただきたいなと思いました。校長会議があれば、もう一度確認していただきたいなと思いました。

あと「こどもの権利条約」を背景に、「こどもの権利条例」というものを、市町村によって制定して「いる、いない」ということがあり、その現状を聞いて、ぜひ成田市でも、こどもの権利条例を作ってほしいなと切にお願いをします。こども一人一人が健やかに成長していつてほしいという気持ちもありますし、また県の方でもこういった「権利ノート」というのが配布されているようですが、これを子どもたちに配れたら配っていただきたいなと思います。

廣田教育指導課長：こどもの権利条例につきましては、先日の6月市議会でも一般質問がありましたが、「権利ノート」については、各学校でダウンロードして活用するようにしております。条例の制定につきましては、状況等見ながら考えていきたいと思えます。

交通事故につきましては、教育委員会でも深刻に受け止めており、今朝、教育長から指示を受けまして、各学校に通学路の安全点検及び児童生徒の注意喚起について、本日午前中に通知文を発出しました。内容としましては、年度初めに通学路の安全点検を実施済みであります、改めて道幅が狭い個所や樹木が覆いかぶさっている個所など、通学の妨げとなっている場所、危険な場所の確認をお願いします。そして、学区内の危険個所を児童生徒と共有するとともに登下校時の安全確保と注意喚起について、併せてご指導くださいという内容で通知文を発出しております。

関川教育長：他にその他ございますか。

岡本委員：最近暑くなってきたので、子どもがマスクしたままはよろしくないと思います。どうしても暑くなると思うんですね。熱中症で倒れる子も結構います。プールはたぶんないと思いますので、体育の時間は、おそらく体育館か外で運動していると思いますけど、できればその時は、マスクを外していただいて、また水分をとるとか、積極的に進めてもらった方が良くないかなと思います。

廣田教育指導課長：近日中に校長会議を予定しておりまして、毎回校長会議につきましては、コロナウイルス感染症対策ということで、ワンペーパーをご用意させていただいているところです。直近の校長会議でも、その内容を踏まえたものを示させていただこうと思えます。

葉山学務課長：学務課訪問で学校を回っていて、体育の授業を見ますが、半分以上がマスクをしています。校長先生にマスクを外していいですよと言ったところ、先生たちも外せと言っているようですが、子どもたちが不安だから付けたいということで付けているらしいです。今日も玉造中学校に午前中行ってきましたが、女子体育を見たところ、外している子は2人だけでした。

岡本委員：周りがつけているからなんとなく付けてという形になって、結構つけていますよね。できるだけでなく、外しなさいの方が良いのですかね。どちらなんでしょうね。

関川教育長：学校では、外すように指導しているのですよね。

葉山学務課長：この前、岡本委員に教わったように、前を向いて距離をとっていれば大丈夫ですよと話はしましたが、子どもの方がまじめなのか、とにかく外さないです。

岡本委員：慣れてしまっているのでしょうかね。

関川教育長：天候も段々厳しくなってくるので、改めてもう一度お話をさせていただきたいと思います。実は7月1日に臨時の校長会議を開く予定でありますので、改めて伝えたいと思います。

子どもは、指導してもとらないのですよね。

葉山学務課長：とらないらしいです。この前、向台小学校でも走っているところを見ましたが、みんなマスクをしていました。距離があるから外していいですよと先生に言ったところ、児童には外せと言っているようですけど、外さないそうです。

関川教育長：熱中症になって、倒れてからでは遅いので、指導をしっかりしたいと思います。あと市内でプールの授業をしている学校もありますので、その辺は把握していますか。

廣田教育指導課長：正確な数は手持ちにありませんが、5校ないし6校が今年度プールを実施しております。実施にあたりましては、事前に感染症予防のチェックリストを設けまして、この条件を満たしたものについては、プールの実施を可との指示を通知いたしまして、それに基づきまして、できるできないは学校長の判断で行っていただいているところであります。

関川教育長：かなり厳しいチェックリストを作りまして、全部の項目をクリアしないと水泳指導してはいけないとしておりますので、全部クリアしたところだけが実施しているということです。

廣田教育指導課長：1校が中学校で、他は小学校です。

関川教育長：下総みどり学園で2年ぶりに水に入ったという子は、これまで2回水泳指導があり、1回目は感覚を忘れていて、ずいぶん水を飲んだと言っていました。あまりにも泳がない期間が長すぎたので、水に慣れていないということがよくわかったなと思いました。

7. 教育長閉会宣言